

コロナに負けない雄中生 『雄志～心に刻め、今この瞬間を～』

校長 片山 亮 一

朝夕めっきり涼しくなり、虫の音に秋の深まりが感じられる頃となりました。地域並びに保護者の皆様には、日頃から本校の教育にお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

先日、雄山中学校の「雄」で始まるスローガン『雄志～心に刻め、今この瞬間を～』を掲げ、手に汗にぎる熱戦を様々に展開した第 7 4 回体育大会を無事に終えることができました。

コロナ禍のなか、感染症対策として進行や競技そのものの見直しを余儀なくされ、随分と慎重に準備を進めてきたのですが、前日からの強風が朝になっても止むことがなく、4 張りから 6 張りに増設した団テントを使えないまま体育大会をスタートさせました。熱中症が心配されましたが、体感温度を下げる強めの風がかえって心地よく、雄中生のだれもが伸び伸びと活躍できる一日となりました。

例年以上にグラウンドいっぱいに広がった開閉会式や「よさこいソーラン」は生徒たちをより遅く見せ、新たに取り入れた「雄山記念 3 年生総員リレー」を始めとする競技や演技の数々が会場のすべての人々に「たくさんの元気」をもたらしました。実は全校が集う活動としては、この体育大会が本年度になって初めてであり、残念ながら最後になるのだらうと思われま。その貴重な 1 回のチャンスを逃さず、あれほどまでも見事にやり切った生徒たち、特に原動力となった 3 年生が心から愛おしく感じられました。伝統や校風を肌で感じ取り、確実につないだ一日にただただ感謝するばかりです。

この豊かな経験が 2 年生や 1 年生を大きく成長させたのでしょうか。新川新人大会のどの競技会場でも雄中生は輝いていました。もちろん結果の優劣はありますが、週明けの職員室には数多くの優勝カップや賞状が並びました。今週は生徒会役員選挙の選挙活動、陸上競技部による「交通安全たすきリレー」が新たに展開され、「コロナ禍における人権」を学級ごとに考える活動も生徒会が進めています。まさに「明るい学校 楽しい学校 美しい学校」を創ってくれています。

さて、話はまったく変わりますが、田畑に囲まれた我が家も、心地よい虫の音に心癒されるようになりましたが、9 月の中頃からでしょうか、金属の皿でも叩いているような不思議な音が入り混じるようになりました。いわゆる、音楽という八分音符が途切れることなく続くのです。昨年までは聞こえてこなかったこの音がだんだん気になり始め、「秋の虫」をタブレット端末で検索してみました。数ある虫のなかから名前を見つけるのは困難を極めるだらうと思いきや、すぐにその「音の主」が判明しました。その名は『カネタタキ』、あまりにも分かりやすい名前なので、このユーモラスな「秋の虫」のことが家族のように思えるようようになりました。

毎朝私は、しばしばサル群れが出没する「猿倉山」の麓や、クマの通り道といわれる「熊野川」の傍を通過して通勤していますが、その名前にも変に納得してしまいます。そうこうしているうちに、父親の名前「亮」の一人目の息子だから「亮一」となっただけの自分の名前が何となくありがたく感じられ、息子や娘の命名について思いを巡らせてみました。いろんなシーンが思い起こされ、意外と楽しいものです。

我が子にはうるさがられそうですが、新たな家族『カネタタキ』をだしに、子どもたちの名前を話題に家族で盛り上がってみようと思います。



10～11月の主な予定

10月10日(土)	県選抜大会(屋外競技:~11日)	11月 3日(火)	文化の日
14日(水)	研究大会のため午後放課 (給食あり/本校は国語会場:3年2組)	6日(金)	教育相談(~20日)
15日(木)	学校納金口座振替日	7日(土)	県選抜大会(屋内競技:~8日)
19日(月)	中間考査(~20日)	16日(月)	学校納金口座振替日
30日(金)	合唱コンクール	23日(月)	勤労感謝の日
		25日(水)	期末考査(~27日)

※3年生の修学旅行の代替活動につきましては、検討・調整中です。

笑顔がひとときわ輝く 第74回体育大会

9月8日(火)、「雄志〜心に刻め、今この瞬間を〜」のスローガンの下、第74回体育大会を行いました。短かかった夏休みを終えてすぐに、3年生のリーダーがマスコットの制作やパフォーマンスの練習に励みました。また、大会までの3年生の頑張りについて何とか応えようと、炎天下の中にあっても一生懸命に励む1、2年生の姿がありました。当日は風が強く、競技や演技に影響を与える場面もありましたが、生徒たちの思いが勝り、終始熱戦が繰り広げられるなど、これまでの努力の成果が余すところなく発揮されていました。平日にもかかわらず、多くの皆様に温かく見守ってくださり、本当にありがとうございました。

総合優勝		朱雀団	
競技の部	優勝	白虎団	次勝
パフォーマンスの部	最優秀賞	朱雀団	優秀賞
マスコットの部	最優秀賞	玄武団	優秀賞



強風をもはね返す選手宣誓

【朱雀団】 団長 安川 由楽

朱雀団の皆さん、お疲れ様でした。暑い中でも頑張ってくれる団員の姿は、団リーダーにとってすごく心強かったです。パフォーマンスの急な変更にも臨機応変に動いてくれた団員の皆さんには感謝しかありません。朱雀団全員でつかみ取った「総合優勝」です。最高の体育大会をありがとうございました。

団員の皆さんに支えてもらい頑張ることができました。来年はさらにパワーアップした朱雀団で、2連覇を目指してください。



【白虎団】 団長 石田 愛華

白虎団の皆さん、ありがとうございました。活動していく中で不安や迷いがありましたが、団リーダーや先生方、そして皆さんの支えがあったからこそ最後までやり遂げられました。皆さんのスマイルを見て私もスマイルで終えることができました。団員から「ありがとう!」と言われたときは本当に白虎団の団長を務めることができ、幸せだと思いました。

体育大会は一生の思い出です。ありがとう、白虎団スマイル!



【青龍団】 団長 三鍋 香乃

私はたくさん成長することができました。練習では団員全員を見ながら声を掛け、気配りをするのが一番大変でしたが、最もやりがいを感じました。私が不安な顔をしていると、団員のみなが「頑張ろうよ、もっと声を出そう!」と、声を掛け合ってくれたことがとても心強かったです。本当に感謝しています。

青龍団は最後まで『笑顔』を忘れずに、高め合ってきました。みんなと頑張った時間は大きな宝物です。



【玄武団】 団長 石原 結羽

体育大会を終え、私は玄武団でよかったと改めて思います。いろいろな制約がある中で大変だったと思いますが、弱音を吐かず私たちリーダーについてきてくれてありがとうございました。私たちは何度もくじけそうになりましたが、団員の皆さんの一生懸命な姿に勇気付けられ、最後まで頑張ることができました。

玄武団の皆さんと過ごした毎日がとても楽しくて、最高の時間となりました。玄武団、大好きです。

